

クラウド時代の機関リポジトリ

- ・計算機・ネットワーク技術の発展の一般的な成果であるクラウドシステムを機関リポジトリに適用することにより、今までには得られなかったタイプ・レベルの利点を獲得する

技術的進歩を如何に機関リポジトリに取り込むか、という観点

- ・独自に機関リポジトリを維持する余裕のない機関のためにも国に一つの共用プラットフォームを用意しなければならないほどに、機関リポジトリ不可欠という認識が広まり浸透してきた時代とその時代における機関リポジトリ

それほど機関リポジトリが普及してきた時代に我らは何を目指すべきかという観点

クラウド時代の機関リポジトリ

技術的進歩を如何に機関リポジトリに取り込むか、という観点

「今までには得られなかったタイプ・レベルの利点」

- ・(サーバ運用の)コストダウン
- ・統一的な操作方法による操作スキル伝承の容易さ
- ・冗長性の確保(各リポジトリの長期的なアクセス保証)
 - ・データ(メタ・本文)のバックアップは安全性が増す
 - ・バックアップサーバ・アプリケーションサーバを複数の地域に配置することで冗長性が増し、アクセス経路についても安全度が向上

クラウド時代の機関リポジトリ

技術的進歩を如何に機関リポジトリに取り込むか、という観点

各リポジトリの長期的なアクセス保証

<コンテンツとメタデータ自体の長期保存>

- ・クラウド技術による常時遠隔地バックアップがよいのでは
- ・学術情報であり、NDLによる収集があるべき

<各大学のサービス再開復旧>

- ・基本的に各大学の責任において実施すべきもの
- ・メタデータの粒度や独自機能まではそもそも第三者が責任を負うべきものではない

クラウド時代の機関リポジトリ

私からの話題提供

1) 中小規模大学の機関リポジトリ活動とクラウド

- ・導入予算、維持するための予算が本当に厳しい
- ・サーバもそうだが要員の確保はもっと厳しい
- ・しかし担当者の熱意は高く、方法論と意義を強く求めている

クラウド時代の機関リポジトリ

私からの話題提供

2) 地域連携活動に係る課題と解決の方向性

<課題>

- ・単発的ではだめ、必ず継続的であること
- ・テクニックの伝承だけではだめ、人のつながりを作ること

<解決の方向性>

- ・大学外にオーソライズする機関がどうしても必要
- ・図書館内の理解を得ることの重要性を認識すること
- ・「もう五年も経った」とか言わないこと

クラウド時代の機関リポジトリ

私からの話題提供

3) 大学図書館経営者層、NDLに対する要望

<大学図書館経営者層>

- ・学術情報の Open Access 化を、ちゃんと時間をとってまじめに考えてくれ。意見を聴かせなさい。聴いてあげるから。

<NDL>

- ・“復旧”まではいいから、リポジトリ上のデータ保存について積極的に関与してほしい